

# Meet the Musicians

楽団員紹介

華麗なサウンドで彩る 離島出身のトランペッター

## 松山 萌

Moe Matsuyama

[トランペット奏者] 2018年4月入団

趣味:素潜り、釣り



©N.Ikegami

### ソロを吹いたことがきっかけ

出身は島根県隠岐の島。4つの主な島と、約180の小島からなる、フェリーで約2時間半の群島です。人口は約2万人、島民は皆顔なじみなので、今でも島に戻るとみんな声をかけてくれます。

小学4年生の時に、家族の仕事の都合で大阪に引っ越しをし、中学ではバスケットボール部への入部を希望するも、そのタイミングで廃部。大阪にきて、島生活では習う環境がなかったピアノを始めていたので「音楽は好きだし…」となんとなく覗いた吹奏楽部に勧誘され「フルートやクラリネットであれば」と入部したのですが、なぜか私1人だけ金管楽器に配属。トランペットは人気楽器でしたが、木管楽器がやりたかった私は、もう部活を辞めたくて辞めたくて仕方ありませんでした。

転機は、合奏で先輩がトランペット・ソロを吹けていなかったときに、顧問の先生が一人ずつ順番に演奏させたこと。その時に、たまたま私だけ吹けてしまって、1年生でソロを吹くことになりました。「先輩がいるのに自分が吹いていいのかな」と思ったこともありましたが、その頃からトランペットが楽しく吹けるようになりました(笑)。

最近、偶然当時の顧問の先生にお会いしたので、なぜ入部時に全く音が鳴っていなかった私をあえてトランペットに配属したのか伺ってみたところ、一言「へこたれなさそうだったから」。今となっては、先生に感謝してもしきれません。



学生時代に吹奏楽コンクールにて。

### 趣味は海で泳ぐこと

ダイビングというよりは、しっかり“素潜り”をします。家から徒歩5分に海があったので、幼少期から隠岐の島の海に潜って遊んでいました。今も、島に戻ると海に釣りや潜りにいき、東京でも休みができると海に行きたくて釣りをします。

最近は隠岐の島町も観光地化しています。冬期や台風の季節は欠航率が高いですが、夏期には大阪から大型飛行機も飛んでおり、あつという間に島に到着。7~9月は海の色も綺麗でおおすすめです。是非自然豊かであたたかな隠岐の島に遊びに来てください!



祖父の家の近くにある観光名所、ローソク島は馴染みの景色。

インタビュー:事務局